

MAST

Mikawa Akabane Shizuoka Toyohashi

岡崎教区広報誌

2026年5月

第16号

発行所／真宗大谷派岡崎教務所

発行人／錦 秀見

編集／教区教化委員会メディア部会

印刷／プラザー印刷株式会社

「是旃陀羅」に関する課題を学ぶ 教区学習会報告

2025年度岡崎教区教化委員会学習会報告

「善光寺如来絵伝」絵解き

てら活（お寺の活動紹介）

岡崎教区青少幼年教化通信

「是旃陀羅」に関する課題を学ぶ教区学習会報告



第21組 乗蓮寺
わたなべ じゅん
渡邊 潤
住所：刈谷市今川町
2丁目602番地

真宗大谷派は宗祖親鸞聖人がよりどころとされた經典の一つ、「観無量寿経」に出てくる「是旃陀羅」という語が持つ差別性を課題とし、宗派をあげて学習に取り組んでおります。今年度行った教区学習会の報告をいたします。

旃陀羅^{せんたらか} 古代インドの身分制度「カースト制」において制度外に置かれた賤民階級の名称。現在制度は廃止されているが、この階級に対する差別は残っている。真宗教団ではこの語に関する説明を日本の被差別民衆と重ねて行ったため、被差別民衆に対する差別を助長することとなったという歴史がある。

註：「旃陀羅」の「旃」は「観無量寿経」では「柁」と表記されるが、一般的に使われる「旃」で統一する。

このたび、「是旃陀羅」に関する課題を学ぶ教区学習会を開催しました。この学習会は2024年に発刊された『御同朋を生きる』の編纂に関わられた4名のご講師による全4回の連続講義となっております。

第1回は2025年12月4日に宮下晴輝氏（前教学研究所所長）、第2回は2026年1月14日に中山量純氏（解放運動推進本部本部長）、第3回は2月4日に名和達宣氏（教学研究所所員）、第4回は3月30日に鶴見晃氏（同朋大学教授）をお招きし、それぞれご講義を頂きました。

全国水平社の創立から100年以上が経過し、その当初から東西両本願寺に対して問われ続けてきた「是旃陀羅」の課題に対して、宗門の対応は十分といえる状況では無く、私たち僧侶においてもこの問題に対する関心の薄さが、この問題を長期化させてきたのだと思います。

近年になり、あらためてこの課題に対しての問題提起を受け、私たちが体系的に学ぶためのテキストとして『御同朋を生きる』が発刊されました。

当日の講義では、インドにおける身分差別の歴史、教団による差別の歴史、『観経』序分の解釈の問題などを丁寧に講義頂きました。私自身の今までの学びの中では、目の前の差別の問題に対しての学びは

ありましたが、今回の学習会を通して長い差別の歴史の中で続いてきた事が、今も現実に行われているという事実があらためて明らかになる学習会でした。

講義の中で宮下先生の言われた「この課題の着地点はない」という言葉は非常に重く、差別を受けた側の心の傷が癒える事の無い重大さを強く感じました。

以前に教区で開催された部落差別問題の学習会で、岡崎教区内には大きな被差別部落が少ないという話を聞きました。解放運動推進本部が主催する各教区の代表者協議会に参加させて頂いた際にも、岡崎教区と同様に被差別部落が少ない教区があり、この問題に関する積極的な関わりが少ないというのが現状です。

この研修会を通じて、1人でも多くの方が部落差別問題に関心を持ち、積極的な学びを続けて頂くことが願われます。



中山 量純氏
（第2回講師）



宮下 晴輝氏
（第1回講師）



鶴見 晃氏
（第4回講師）



名和 達宣氏
（第3回講師）

2025年度岡崎教区教化委員会学習会報告



第16組 圓光寺 平野 暁
えんこうじ あきら
ひらの

住所：安城市桜井町
中開道30番地

2025年12月18日に岡崎教区教化委員会学習会が行われましたので、教化委員会の代表である主幹の平野氏より報告いたします。

教区教化委員会とは？

僧侶も門徒も一人ひとりが真宗の教えに生きる者になることを願う真宗同朋会運動の精神に基づき、教化事業を推進することを目的に教区に設置されている組織。

私たち教区教化委員会は任期3年を間もなく終えようとしています。年に一度の教化委員会学習会では3年間に亘り、「真宗同朋会運動」をテーマに開催してまいりました。

この学びは、私が教区教化委員会主幹を仰せつかって間もない頃、教化事業計画の説明員として教区門徒会に出席をさせて頂いた折、ある門徒

会員の方から、「事業計画に真宗同朋会運動という言葉が一つも出てこないのは寂しい。」というご指摘を頂き、その反省から計画させていただいたものでした。まず初年度には第25組守綱寺前住職の渡邊晃純氏より、同朋会運動が起こった経緯等をご自身のご経験

からお話いただき、2年目は元北海道教学研究所所長の亀谷亨氏より北海道教研の取り組みを通して、同朋会運動への向き合い方をご教授いただきました。そして最終年である今年度の学習会には現北海道教区教化本部長の寺澤二郎氏をお招きし「真宗同朋会運動未来への継承」北海道教区教化本部長の取り組みを通して」との講題でお話を頂き、真宗同朋会運動の過去・現在・未来を学ぶ機会とさせていただきました。

現在、岡崎教区教化委員会幹事会では、教区の教化体制を見直し、新体制を構築すべく議論を重ねており、単に構造だけを変えるのではなく、携わる委員の意識改革に主眼をおき、「教区の教化は教区人の手で」担う体制づくりを進めています。

北海道教区では、約30年前に教化委員会のもとに教化本部が設置され、事業計画、予算の立案など、教区教化のすべてを教区人が主体的活動において担う体制が出来上がっています。私たち岡崎教区も2029年6月より教化本部制へ移行することを目標

とし準備を進める中で、寺澤氏の「教区に関わる一人ひとりが求道者として立ち上がっていく。求道者が一人二人と増えていく中で教区の空気が変わっていく。」というご指摘は委員の視座を高める機会になったと感じています。

6月からは、新メンバーでの教区教化委員会がスタートします。任期3年を教化本部制への移行期間とし、教化事業と並行して教化本部長立ち上げの準備を進めて参ります。今後も教化委員会への忌憚のないご意見をお聞かせいただくとともに、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



昨年度学習会のようす

「善光寺如来絵伝」 絵解き



第16組 本證寺
おやま 小興
住所：安城市野寺町野寺
26番地

② 百済への渡来と日本への伝来

如来は自ら空を飛んで百済国に至り、やがて欽明天皇十三年（552年）に日本へ伝えられます。これが日本への仏教伝来とされます。天皇から如来を託された蘇我氏は寺を造って祀りますが、廃仏派の物部氏が寺に火を付け、仏像を焼いて破壊しようとするが傷一つ付けられなかったため、ついに難波の堀江に投げ捨ててしまいます。

善佐は、如来に自分ではなく天皇を救うよう懇願します。

⑤ 善光寺の創建

善佐に助けられた皇極天皇の勅願によって644年に伽藍が造営され、寺院は本田善光の名を取って「善光寺」と名付けられます。

③ 本田善光との出会いと信濃行き

信濃国国司の従者として都に上った本田善光がその仏像を信濃の国へと連れ帰り、現在の地（長野市）に遷座されます。

「善光寺如来絵伝」は単なる寺院縁起を描いたものではありません。国や時代を超えて仏に出会い、救われていく人々の姿を通して、「ただ今あなたを救う」という阿彌陀如来のはたらき（南無阿彌陀仏）を伝えたいという願いが込められています。

① 天竺での誕生

お釈迦様が生きていた頃のインド・ビシャリ国に月蓋長者という人物がおり、お釈迦様に導かれて阿彌陀三尊仏が生まれます。月蓋長者はその後度も転生を繰り返し、最終的に百済の聖明王として生まれ変わります。

④ 善佐の墮地獄・蘇生譚

善光の息子・善佐が急死して地獄に落ちると、如来が閻魔大王を訪ねて善佐を助けます。娑婆に帰る途中、鬼に追われていた皇極天皇と出会った



▲ 善光寺如来絵伝（本證寺蔵）

順慶寺総代OB会の取り組み

第21組 ^{じゆんきやうじ}順慶寺 ^{いけうら}池浦 ^{ひろき}裕哉
住所：刈谷市泉田町池ノ浦3番地

この度、順慶寺で行われている活動について寄稿する機会をいただきましたので、お伝えします。

コロナ禍以前から拙寺では、お講の活動が退潮傾向にあり、婦人会なども弱体化しています。そのような状況下でも、現在順調に続いているのが総代OB会の取り組みです。

総代OB会は、平成16年の蓮如上人五百回御遠忌法要を拙寺で勤めた際、順慶寺のことを十分に理解して御遠忌法要に参加して下さる方が少なく困難を感じたことから発足しました。それまで総代や年番は地域ごとに存在し、寺の活動を担っていました。役員任期が来たため受けという形式だったので、任期終了後も順慶寺との関わりが薄れる方が多い現状でした。

そこで平成18年に順慶寺護寺会を創設し、会費制と会則を導入、門徒全員を会員として扱うことへと変更しました。総代は三年一期で再任不可とし、経験者は全員総代OBとなつてOB会に入り、護寺会運営をサポートする仕組みにしました。

総代OB会が誕生したことで、護寺会全体による蓮師会・報恩講の支援をはじめ、タケノコ掘りや花祭り、寺カフェの開催、ハス

の会の発足など様々な活動が生まれました。OB会のみなさんで竹林整備を行い、4月には護寺会メンバーでタケノコ掘りを楽しみ、その後タケノコご飯を味わいます。イベントが盛況となり、同日に花まつりや誕生児初参り式も実施されています。寺カフェでは人形劇、新春寄席、琴の演奏といった多彩な催しが毎月開催され、都度約50名のお客さまが集まり賑わいを見せています。

ただ、総代OB会も、総代を受諾される年齢が70歳を超えることが多く、総代OBとされる年齢が高くなってきたことから、高齢化は否めません。今後、新たなしくみを作ることが必要だと感じている昨今です。



寺カフェ新春余興



初参り式



花まつり



タケノコ掘り

岡崎教区 青少年教化通信



第6組 専覺寺
楠理見
住所：蒲郡市御幸町5番37号

第6組専覺寺さんの青少年教化の取り組みについて、住職の楠理見さんにお話を伺いました。

―子ども対象の活動はいつからされていますか？

45年くらい前からやっているのですが、父親が始めたと思います。自分も子どものころに参加していました。当時は夏休みに一泊二日でやっていて、地域の口コミで集まった参加者が1000人ほどいました。しかし、夜お寺を抜け出す子が出てきたりしたのでやめてしまい、それ以降はしていませんでした。

自分が大学からお寺に帰ってきて何かやろうと思いい、夏休みに3日間、ラジオ体操の会をはじめました。思ったより参加者があったので、春夏秋冬にそれぞれ子ども対象の活動をするにしました。現在もラジオ体操の会は続けており、春は花まつり、秋は子ども報恩講、冬は焼きいも大会をしています。焼きいものいもは自分で作っています。

―活動は衰退傾向にあると聞いていますが。

焼きいも大会には50〜60人の参加がありますが、それ以外の行事はそうです。自分の子どもが大きくなって、参加募集をしづらくなってきていることが原因だと思います。子どもが友達を連れてきて、その友達の兄弟がまた友達を連れてくるという、子ども同士の声掛けが一番効果がありますが、それが

できなくなってきました。

一番下の子が今小学6年生なので、今後どうやっていくか分かりません。参加者が減ると自分のモチベーションも下がりますし。

―活動をはじめて20年ほど経つと思いますが、続けていくことができたのは楽しいからですか？

楽しいというより、将来のためという気持ちが大きいかもしれません。やり始めれば楽しいですが、準備は大変ですから。お寺という場所を少しでも子どもたちに経験してほしいと思ってやっています。

参加者の親と関われるのも大きいです。親と関係性ができるので、法事で会ったりしたときに話ができたりすることもあります。そういう時にやっていた良かったと思います。活動は衰退傾向にありますが、子どもが来てくれるかぎりはやるつもりです。

《「子ども相談室」について》

教区教化委員会の青少年教化部会は、教区内寺院の子ども会設立・充実を支援する「子ども相談室」という事業を行っております。

部会では「子ども会を始めてみたい」「子ども会について相談したい」という寺院を随時募集しておりますので、ご興味のある方は教務所までご一報ください。

〈岡崎教区青少年教化通信について〉

このページは教区教化委員会の青少年教化部会に協力いただいています。部会は、活動の二環として寺院での青少年教化の取り組みを取材しており、「岡崎教区青少年教化通信」は、その内容をまとめたものです。今後さまざまな活動事例を紹介してまいります。



花まつりのようす



ラジオ体操最終日の流しソーメン

報恩講 (秋)	
9:00	おつとめ 人形劇など
10:30	終了

焼きいも大会 (冬)	
10:00	いもを焼き始める おつとめ お話 隣の公園で遊ぶ (鬼ごっこ等) 焼きいもを食べる
12:00	終了

花まつり (春)	
9:00	甘茶かけ おつとめ お話
10:00	終了

ラジオ体操 (夏)	
6:30	体操 おつとめ お話 ゲーム
8:00	終了

みんなの掲示板 おいでんみりん

日 日時 会 会場 講 講師 内 内容 テ テーマ 持 持ち物 費 参加費 対 対象 問 問合せ

教区

「伝道研修会」

日 5月18日(月) 13時30分～17時30分、
19日(火) 10時～15時
(2日連続)
講 三明 智彰氏
(九州大谷短期大学名誉学長)
テ 阿闍世の「すくご」
費 無料
持 間衣・輪袈裟(僧侶のみ)、略念珠、
「真宗聖典」
会 問 岡崎教務所
0564-222-2136

団体

同朋の会を推進する会 「親鸞教室」

日 ① 5月26日(火)
② 6月23日(火)
13時30分～15時30分
講 上野 瞭氏(第2組専光寺)
テ 「仏説観無量寿経」を読む
費 3,000円(年間)
持 「真宗聖典」
会 問 岡崎教務所
0564-222-2136

「2025年度東海地区 同朋の会推進交流研修会」

日 6月19日(金) 10時～16時
佐々木月樵の生涯に学ぶ
内 岡崎教務所ほか
会 問 岡崎教務所
織田 頭祐氏(教学研究所所長、
岡崎教区第23組顕明寺)
費 2,000円
持 略念珠、略肩衣、勤行本、「真宗聖典」、
健康保険証、持薬ほか
備 参加希望の方は岡崎教務所にご報
ください。
会 問 岡崎教務所
0564-222-2136

声明研究会 「講習会」

日 6月15日(月) 14時～16時
平常の本堂の荘厳とお給仕
内 三河別院本堂
講 堀田 護氏(第7組本宗寺)
費 年会費・5000円(声明研究会
会員は無料)
持 間衣、輪袈裟、略念珠
会 問 岡崎教務所
0564-222-2136

地域

三河地域教化センター 「別院さんの土曜法話会」

日 ① 5月16日(土) 15時～17時
テ ① 歎異抄第10章「選択本願の念仏」
② 6月20日(土) 15時～17時
テ ② 歎異抄第11章「誓願と名号」
講 伊奈 潔氏(同朋大学講師)
(2回とも)
費 500円(2回とも)
持 念珠、「真宗聖典」(お持ちの方は)
会 問 三河別院
0564-211-0625

赤羽地域教化センター 「儀式作法研鑽会」

日 ① 5月9日(土)
② 6月13日(土)
17時～18時
講 織田 頭慶氏(第8組宿縁寺)
内 「真宗大谷派声明集」でのお勤めの
稽古。当日参加者に習いたいこと
をお聞きして決めます。
費 無料
持 「真宗大谷派声明集」
会 問 赤羽別院
0563-721-23008

有志

「正信偈学習会」

日 ① 5月28日(休) 13時～
会 ① 三河別院東別院会館
日 ② 6月15日(月) 12時30分～、
16日(火) 9時～
会 ② 金沢教務所
日 ③ 7月10日(金) 13時～
会 ③ 豊橋別院
講 四衢 亮氏(岐阜高山教区不遠寺)
費 ① ③ 5,000円
② 10,000円
会 問 小栗 貫次
090-4252-7146
本多 寛靖
090-2182-4599

組、有志で公開学習会の案内掲載
希望の場合は教務所へお問い合わせ
してください。紙面の都合で掲載
できない場合もございますので、
ご承知おき置きます。

※内容は変更となる場合がございます。
詳細は各事業の問い合わせ先にご確
認ください。

『MAST』表紙写真募集のお知らせ

『MAST』は年3回、1・5・9月に発行しており、表紙写真を教区の皆さまから募集しております。

次号第17号は9月の発行となります。写真撮影が趣味の方、ぜひお持ちの写真をご提供ください。お待ちしております。

※都合上、提供いただいた写真を使用できない場合もございます。

【提供方法】岡崎教務所のメールアドレス…

okazaki@higashihonganji.or.jp 宛てに写真の

データを添付して

ご送付ください。



これまでの表紙写真

岡崎教区HPリニューアルについて

このたび、岡崎教区HPをリニューアルいたしました。スマホ画面への対応、各種申請書等のダウンロードなど、より利用しやすいHPとなりました。教区の様々な情報も掲載していきますので、ぜひご活用ください。また、このような情報、機能がほしいというご意見がありましたら、岡崎教務所までご連絡ください。

編集後記

おかげさまで今回もMASTを発行する事が出来ました。異常気象や戦争が世界を揺るがしている昨今、私達には何が出来るのでしょうか？もちろん大きなことは出来ないでしょうが、それでもお釈迦さまや親鸞聖人の教えを次の代に残していくことは出来るでしょう。

一人一人の送る風が弱くても大勢の風が集まり、それを受け取る帆がMASTに張られているのなら、大きな船は進むのです。この機関紙がその一助となれば幸いです。

(編集…なかね)

法語

日常生活の全体が、
大きな問いかけをもっている。

藤元 正樹

ふじもと まさき
藤元 正樹

1929年(昭和4年)～2000年(平成12年)兵庫県に生まれる。元真宗教学研究所所員、元真宗大谷派同和推進本部委員。

※この法語は『日めくり法語 一語一遇』(東本願寺出版)より抜粋しました。



岡崎教区教化テーマ

みなさまの声を聞かせください

『MAST』に対するご意見、ご要望をお寄せください。下記メールアドレスにて受け付けております。より多くの方に、手に取っていただける広報誌にするためにみなさまのご協力をお願いします。岡崎教務所(MAST担当) okazaki@higashihonganji.or.jp

岡崎教務所 ☎ 0564-22-2136



岡崎教区ホームページ



岡崎教区facebook



岡崎教区 LINE